

## 福知山市商工会 企業業況調査

令和3年7月調査結果(令和3年4月~6月分 調査対象 80件) (令和3年8月 日公表)

### ■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	80	27.2	30.0	31.6	27.2	35.6	33.8	
地域別	三和	16	27.9	29.7	32.4	25.0	36.8	34.4
	夜久野	28	25.9	27.9	32.4	25.0	35.2	24.0
	大江	36	27.8	32.6	30.6	29.9	35.4	40.3
業種別	製造業	24	32.3	33.3	35.4	34.4	43.8	44.8
	建設業	22	35.7	38.6	35.7	30.7	33.3	34.1
	卸小売業	11	15.9	18.2	22.7	13.6	29.6	29.5
	サービス業	23	19.8	23.9	28.1	22.8	32.3	23.9

#### 景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出  
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0  
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

現状は、景況感DIは27.2と前回調査より2.8ポイントのマイナスとなった。地域別では、三和が1.8ポイント、夜久野が2.0ポイント、大江が4.8ポイントのマイナスになっている。業種別では製造業は1.0ポイント、建設業は2.9ポイント、卸小売業で2.3ポイント、サービス業が4.1ポイントのマイナスとなっている。前回調査では全地域、全業種プラスだったが、今回調査では全地域、全業種マイナスと厳しい状況となっている。

先行調査では、先行3ヶ月が4.4ポイントのプラス、先行1年が1.8ポイントのプラスと改善の兆しがみられる。業種別に見ると、先行3ヶ月で全業種で1.0~9.1ポイントのプラス、先行1年では卸小売業が0.1ポイント、サービス業が8.4ポイントプラス、製造業と建設業においてはそれぞれ1.0ポイント、0.8ポイントのマイナスではあるが微減となっている。先行き調査ではワクチン接種が進み新型コロナウイルスの収束への期待から見通しは上向いている。

### ■経営動向

#### ○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合			-20.0	-28.9	-24.4	-31.1
売上			-24.4	-32.6	-28.9	-23.9
採算	-2.2	-13.6	-22.2	-39.5	-26.7	-32.6
資金繰り	-17.8	-15.9				
業況	-35.6	-34.1				

#### 経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

#### ○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上			-54.3	-41.2	-48.6	-41.2
客数			-57.1	-54.5	-51.4	-43.8
客単価			-40.0	-22.6	-40	-23.3
採算	-34.3	-25.0				
資金繰り	-45.7	-31.3				
業況	-68.6	-59.4				

#### ★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が11.4ポイントのプラス。資金繰りと業況がそれぞれ1.9ポイント、1.5ポイントのマイナスとなっている。

卸小売業・サービス業においては、全ての項目でマイナスとなっている。特に資金繰りにおいては14.4ポイント大幅なマイナスとなっている。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合18.9ポイント、売上が8.2ポイント、採算が17.3ポイントのプラスと二期連続で改善。前期比においては、引合が6.7ポイント、採算が5.9ポイントのプラス、売上は5ポイントのマイナスとなっているものの持ち直しの動きがみられた。

卸小売業・サービス業については、前年同期比では、引合、売上、採算のすべてで悪化している。特に客単価17.4ポイントマイナスと大幅に悪化している。

前期比についても、引合、売上、採算のすべてで悪化している。

■今期直面している経営上の問題点（業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(63)	建設業(52)	卸小売業(22)	サービス業(59)
1位	設備の老朽化(3) 19.0%	仕入単価の上昇(1) 19.2%	需要の停滞(-) 31.8%	消費者ニーズの変化(4) 18.6%
2位	仕入単価の上昇(-) 15.9%	需要の停滞(3) 19.2%	仕入単価上昇(3) 18.2%	需要の停滞(3) 15.3%
3位	経費の増加(-) 11.1%	従業員の確保難(2) 17.3%	消費者ニーズの変化(2) 13.6%	経費の増加(-) 15.3%
4位	従業員の確保難(5) 11.1%	同業者の進出(-) 9.6%	同業者の進出(-) 9.1%	仕入単価上昇(2) 13.6%
5位	需要の停滞(1) 9.5%	設備の老朽化(-) 9.6%	競争の激化(1) 9.1%	設備の老朽化(1) 13.6%

今回の調査では建設業と製造業の仕入単価の上昇が特徴的であった。ウッドショックなどの影響もあり仕入価格が高騰しているが価格に転嫁できず利益を圧迫し、厳しい状況が続いている。また、製造業では従業員の確保難が4位(前回2位、前々回1位)となっている。

卸小売業では3回目の緊急事態宣言の影響もあり需要の停滞が、前回調査から27%増の31.8%と大幅に上昇している。

サービス業については前回調査と上位はあまり変動はないが、経費の増加が15.3%と上昇している。

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は令和3年7月～9月の状況について、令和3年10月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。